

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙写真は、5月14日（土）に行われた、青年部食育事業での集合写真です。詳細は2、3ページをご覧ください。



CONTENTS

- * しょくいくつうしん
- * 第28回 JA北海道大会
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ
協同組合と報徳
- * 給油課より
- * 新緑祭のお知らせ
- * 指導チーム
- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2016.

6
JUNE

No.078



平成28年度 青年部食育事業について

今年度も青年部主催による「親子参加型食育事業」が始まりました。今年で食育専用圃場を設置して9年目を迎えます。

今年も池田町内の小学校に参加をお願いしたところ、昨年より6家族多い全14家族が参加して頂けることになりました。5月の播種作業から10月の収穫作業まで4、5回の作業を通じ作物の栽培から収穫、そして自分たちで栽培した作物を食べるところまで体験していただく予定です。今年、食育専用圃場を例年より大きくして、希望が多かったポップコーン・カボチャ・スイートコーン・枝豆・さつまいも、そしてハロウィンなどで使われる大きなカボチャ（アトランティックジャイアント）を作付します。

参加された家族の皆様が、「食」を通じて楽しんでいただけるよう、関係機関と連携をしながら青年部員一丸となって食育事業に取り組んでいきたいと思っております。

取り組み内容

- ①主 催 JA十勝池田町青年部
- ②共 催 池田町農業構造政策推進協議会・JA十勝池田町
- ③参加家族 池田小学校……9家族 利別小学校……5家族
- ④事業内容 ポップコーン、カボチャ、スイートコーン、枝豆、さつまいもの播種（定植）から収穫までの一連の作業と試食
- ⑤圃場場所 農産センター北側 青年部食育圃場
- ⑥作業予定

日 程	作 業	そ の 他 内 容
5月14日(土)	畝きり・肥料まき・播種	事業説明、ポップコーン・カボチャ・スイートコーン・枝豆播種
6月11日(土)	定植・草取り・間引き	カボチャ・さつまいも定植
7月中旬	除草作業	——
8月下旬	収穫作業	トラクター試乗、スイートコーン・枝豆・カボチャ収穫、試食
10月中旬	収穫作業	さつまいも収穫試食 ポップコーン収穫

※ 大豊作となった場合池田町給食センターへの寄贈予定しています。

※ 状況により作業内容が変更となります。



大きく育つてね!



樋口部長挨拶

5月14日(土)



第1回目作業



種まき楽しいね



穂がま使うの上手!



かぼちゃのポットを作ろう!



かぼちゃの種をまいる様子

第1回目作業を終えて

5月14日(土)今年度第1回目となる青年部食育事業が行われました。今回は、13家族37名と過去最大の参加人数で、去年より大きくした圃場が、子供達でいっぱいになるほどでした。

1回目の作業内容はスイートコーン・ポップコーン・枝豆の植え付けと、かぼちゃのポットへの播種作業でした。子供達は青年部員に教えてもらいながら、元気いっぱい、楽しそうに植え付けをしていました。

また、部員と参加された方々との会話が多く見られました。昨年度も参加して頂いた方が多かったのと、樋口部長の「もっと親密になろう!」という意向で、参加家族・青年部食育担当者に「名札」を付けてもらった事が良かったのだと思います。

今回の食育事業では、多くの青年部員に参加して頂いたおかげで無事終わる事が出来ました。食育事業実施日前の悪天候により、それぞれご家庭での仕事があったかと思います。そのような中で部員が参加出来たのは、ご家族のご協力があったからなのではないでしょうか。本当にありがとうございました。

第2回目の食育は6月11日(土)を予定しています。これからも子供達・地域の皆様に「食」の大切さを伝えるため、青年部一同、精一杯頑張ります! (記事・青年部支部長 神谷英祐)

第28回J A北海道大会 パネルディスカッション

「550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の
実現に向けた農業の魅力発信

北海道農業協同組合中央会 副会長 内田 和 幸氏

J A北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJ Aグループに期待すること」を5回シリーズで紹介します。



内田 和 幸氏

北海道農業協同組合中央会

副会長

最終回は、J Aグループを代表してJ A北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。

「力強い農業」、 「豊かな魅力ある農村」 の実現に向けた 組合員の役割

北海道の農業は今まで非常に過酷な条件の中で、先人たちが長年にわたって築いてきた。食料基地としての大きな役割を担っている。自信と誇りを持って、これからの大きな変化の時代に立ち向かっていかないと行けない。

農業者一人一人も大きな力ではあったが、そこに協同組合があったからこそ、ここまで発展してくることができた。これからJ Aの力を大事にしていかなければならぬ。

ればならない。

「こういつ時こそ農協に結集して、団結力、組織力を発揮しないと、これからの時代は乗り切っていけない。一人よりも十人、十人よりも百人ということで意思の結集を通じながら難局を乗り切っていかなければならない。」

大会決議には、農業所得20%増大、新規就農者の倍増、流通改革、生産コストの削減、など具体的なことがあるが、いずれも一人ではできない。

北海道農業は、それぞれの地域の中にあつて、欠かせない産業。地域を味方につける、より農業の理解者

最後に一言

を味方につける。北海道の農産物は安心安全、そしておいしいと言われ、さらに地域貢献をしながらJ Aの、協同の素晴らしさを外に発信していく必要がある。そういった積み重ねが道民50万人の支持につながっていく。そして、理解者につながり、応援団になっていくと思っている。

J A組織は、今まで色々と組合員の所得確保のために改革を行いながら進んできた。しかし、それ以上に時代の流れは速く、その時代にどうやって適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが今後求められる。そのこと

によってさらに農家組合員の所得、また経営が安定するよつな近道になればと思つており、あえて言わせて頂いた。

私たちは、道民・国民に安心安全な食料を供給しているという、大きな役割を担っている。

そのことには自信と誇りをもつていい。北海道のなかで農業をこれ以上衰退させないようにしっかりと取り組みをしていかなければならない。

もっと外に向かつて、農業の良さ、食、そしてまた農業に取り組む姿勢を発信していかなければならない。そのことが、道民550万人と共に創る力強い北海道農業、豊かで魅力ある農村の実現に必ず結び付く。3年間一緒に頑張りましょう。



活力ある職場づくりを目指して ～ 5 S 活動報告 ～

平成28年度 キックオフ大会開催

平成28年4月26日（火）全役職員が一堂に会し、キックオフ大会を開催いたしました。本大会の目的は、事業計画目標達成の為、各課の行動計画の発表を行い、職員一人ひとりが目標を理解し行動を共にする事、そして業務の改善に繋げることです。

鈴木組合長による開会の挨拶の後、大塚常務・6部9課・指導チーム・5S委員会・地域ブランド構築プロジェクトの目標と活動計画を発表し、「農業所得の増大」「人材の育成」にさらに取り組むべく、部門間を横断して目標達成に向け努力して行く事を確認いたしました。

各課の発表では熱い思いを語りすぎ持ち時間を超えてしまったり、指摘を受け笑いが起きるなど和やかな中にも熱意と意気込みを強く感じるものでした。

5S活動の「くふうシート」を通じて業務の改善に貢献したとして、施設課農産センター（くふうシート最多応募）と個人20名の表彰を行いました。

新入職員2名から今後の抱負を聞き、その後懇親会へと進み楽しい時間を過ごし、会が終了いたしました。

本大会で更に組合員・利用者の皆様方に満足して頂ける職場作りに向け、役職員一丸となって取り組んで参ります。

（記事・5S委員長 本郷浩二三）



キックオフ大会の様子

事務所周辺を清掃！



春の定期清掃実施

平成28年4月13日（水）に地域貢献の一つとして取り組んでいる「春の定期清掃」を実施しました。今年は雪解けも早く、本所事務所周辺では冬の間溜まったゴミや落ち葉、滑り止めに撒いた砂が早くから目に付くようになっていました。

定期清掃は年3回実施していますが、作業箇所を各課で分担するようになってからは、効率良く作業を進められるようになり、この日は予定時間より早く作業を終えることがで

き、本所周辺に落ちていたゴミもきれいに無くなりました。

今後も定期清掃と合わせ、地域の環境美化に向けた取り組みとして、職員による毎週のゴミ拾いを実施し、組合員並びにお客様が気持ち良くJAを利用できるよう全職員心がけて参ります。

（記事・5S副委員長 緑川 強）



現地研修会の様子

指導チーム

農業生産技術 向上のために 小麦幼穂形成期 現地研修会開催

5月2日（月）に小麦幼穂形成期現地研修会を開催いたしました。指導チームからは、4月下旬に実施した小麦定点調査結果報告、普及センターから小麦の現状と今後の管理についての説明をいただきました。

5月上旬の幼穂形成期現地研修会は、良質な小麦生産に向けて、小麦の状況や管理方法などの情報発信、組合員の皆さんとの意見交換の機会を多く設けるために、昨年から開催しております。研修会の中では追肥の時期や量、昨年と比べて生育はどう進んでいるのかなど多くの質問が出され、大変有意義な研修会になりました。

今後も組合員の皆さんに少しでもお力添え出来るよう、日々の圃場巡回でよく観察し的確な情報発信に努めてまいります。

(記事・購買部生産資材課 桜井綾之)

ネバリスター部会

ネバリスター 催芽研修会開催 ～植付作業始まる～

ネバリスター部会催芽研修会が4月20日（水）に9名の参加を頂き、開催されました。キュアリング・催芽作業は栽培過程において良質なネバリスターを生産するために最も重要な作業になります。研修会では、キュアリング・催芽作業、定温庫・ハウスでの催芽状況等についての基本事項を確認しました。部会員全員がネバリスターのブランド化を目指しているため、部会員同士の質問・意見交換が活発で、とても有意義な研修となりました。研修会にご協力を頂きました、部会員の皆様大変ありがとうございました。

1ヶ月以上にわたる種子準備・キュアリング・催芽作業など生産者の皆様、大変ご苦労された事と思います。植付作業は5月6日からスタートしました。より一層美味しいネバリスターを生産できるよう取引先・生産部会一丸となって取り組んで参ります。

(記事・農産部農産課 上野 駿)



研修会の様子

生育状況



にんにく部会

にんにく 順調に生育！

昨年、9月下旬に植付されたにんにくが順調に生育しております。

当JAの生産者戸数は11戸、作付面積は販売圃・種子増殖圃合わせて209a、一番作付が多い生産者で50aです。本年度は、積雪も

十分にあり、越冬条件も良く4月、5月に適度な降雨もあり順調に生育しております。

今後は、7月上旬の収穫に向けて管理作業が続きますが、収穫状況については広報や青果物説明会等で紹介して参ります。にんにく栽培に興味のある方は農産課までご連絡ください。

(記事・農産部農産課 鈴木耕一郎)

金融共済課

ゆくゆく！JA年金キャンペーン 当JAより2名の方が見事当選！！

年金の受け取り口座を指定またはご予約いただいた方を対象に抽選で温泉一泊ペア宿泊券が当たる「ゆくゆく！JA年金キャンペーン」を北海道信連帯広支所主催で平成27年12月から平成28年2月末までの3か月間開催されました。抽選の結果、当JAから昭栄地区の市川法康さんと、様舞地区の西垣タカ子さんが見事当選され、金融部長折笠より宿泊券を進呈致しました。

今年度についても、年金キャンペーン、夏冬の定期貯金キャンペーン等様々なキャンペーンを実施いたしますので、皆様のご応募心よりお待ちしております。

(記事・金融共済課長 石丸 稔)



昭栄地区 市川法康さん



様舞地区 西垣タカ子さん

シリーズ 協同組合と報徳 No.21

「心田開発」

尊徳翁のことばで、「私の本願は、人々の心の田の荒蕪を開拓して、天から授かった善い種、すなわち仁義礼智信というものを培養して、この善種を収穫して、又まき返しまき返して、国家に善種をまきひろめることにあるのだ。」

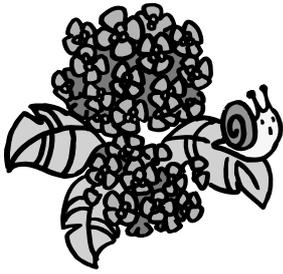
そもそもわが道は、人々の心の荒蕪をひろくのを本意とする。一人の心の荒蕪が開けたならば、上地の荒蕪は何万町歩あるかと心配する事はないからだ。「二宮翁夜話」とあります。教育の力をなによりも大切にしているのです。

そもそも人道の産物である

協同組合は、自然にまかせていると最後には崩壊してしまいます。次々と新しい世代が参加することによって組織が活性化するのですが、新たに参加した組合員の意識を協同組合精神で鍛えなければなりません。教育で始まり教育に終わるといふ協同組合の特質に留意が必要です。

(北海道報徳社)

報徳生活読本より



第1弾

給油課より

廃オイルエレメント・オイル缶の回収

廃オイルエレメント・オイル缶の廃棄にお困りではないですか？ **回収いたします!**



今年も、当JA給油所にて農業機械オイルエレメント及び、オイル缶の回収を実施いたしますので、ご希望の方は下記日程に指定の場所までご持参いただくようお願い申し上げます。

尚、オイルエレメント・オイル缶につきましては産業廃棄物処理法に基づき当JA給油所にてマニフェスト制度により、産廃処理業者へ引き渡します。

回収日時

6月21日(火) 午前9時30分～10時30分厳守

場所

農協氷温ストレージ前駐車場(西側)にて

回収業者

㈱アールフォウ

回収料金

① 廃オイルエレメント = 1,500円 / 1ペール缶当 (オイル抜きのもの)
② 廃オイルペール缶 = 87円 / 1ペール缶当 (多少の残油可)

※ 20L缶の蓋は外し、オイルエレメント・ペール缶の残油等は、出来る限り抜いた上でご持参ください
※ 農業用、自動車用バッテリーの回収も無料にて常時お受けいたしております

第2弾「廃油回収」

今年も当給油所にて、廃油回収を行います。詳しい日程につきましては、後日FAXにてお知らせさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

2016

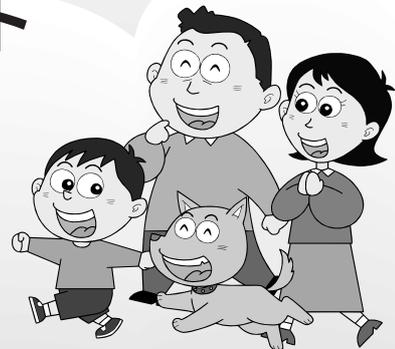
新緑祭のお知らせ

6月16日(木)～18日(土)

とき 午前9時30分～午後6時
【但し、18日(土)は午後4時まで】

とこ Aコープ利別店南側駐車場
特設ジャンボテント

- ◇ 連合大売出し(40社)
- ◇ いけだ牛即売会
- ◇ 自動車・農機具展示会
- ◇ Aコープ利別店 応援セール



詳しい内容につきましては6月中旬
新聞折り込みチラシをご覧ください

お問い合わせ

Aコープ利別店 ☎015-572-2104

指導チーム

▶平成28年度 試験圃場について

本年度も指導チームを中心とした試験を行います。
試験品目は馬鈴薯・ネバリスター・玉ねぎ・南瓜・
アスパラ・福白金時の6品目で実施致します。

生育状況や収量・品質の結果につきましては随時、
「農産部通信」の中でもご報告致します。

食味の向上、つまりは美味しい農産物の生産を全ての
作物において目的としております。試験に御協力頂
いている皆様、誠にありがとうございます。今後とも
生育調査等、御協力の程よろしくお願い致します。

今後も食味調査や関係機関による分析等を行って参ります。



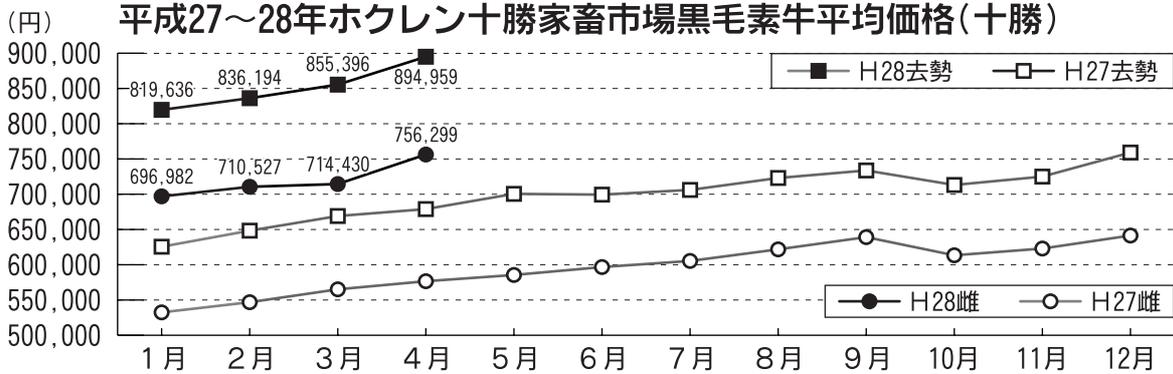
試験圃場設置の様子

作物	試験名	目的
馬鈴薯	オラクル顆粒水和剤の粉状そうか病効果試験	馬鈴薯面積の減少要因の1つとして、「粉状そうか病」の発生があげられる。本薬剤により「粉状そうか病」の発生を抑え、品質向上が図れるかどうかを検証する。
	硫酸カルシウム資材の効果確認(畑のカルシウム)	土壌別に硫酸カルシウム資材を施用することにより、美味しい馬鈴薯を生産する有効な資材かどうかを検証する。あわせて、規格内収量・品質・貯蔵性に違いがあるかを検証する。
	硫酸カルシウム資材の効果確認(灰石膏)	
	発酵鶏糞施用による食味向上効果試験	土壌別に有機物資材を施用することにより、美味しい馬鈴薯を生産する有効な資材かどうかを検証する。あわせて、規格内収量・品質・貯蔵性に違いがあるかを検証する。
	有機肥料施用による食味向上効果試験	
分肥効果確認試験	基肥を減らし、追肥することにより、生育後半の窒素切れを防ぎ、規格内収量の底上げを図る。あわせて、他試験との食味・品質・貯蔵性の違いを検証する。	
玉葱	硫酸カルシウム資材の効果確認(畑のカルシウム)	収量・品質・貯蔵性に効果があるかどうかを検証する。また、食味向上(甘味・辛味)についても検証する。
	炭資源の活用による効果の検証	炭の特徴として土壌保水性向上が期待でき、根張りを良くする。池田町にある資源を有効に活用し、他産地との差別化に繋げる。(地域循環型農業)
ネバリスター	鶏糞施用によるコスト削減	美味しさを目的に部会で鶏糞300kg/10aの施用がルール化されている。有機Nが多い分、化学Nを減らし、収量・品質に影響が無いかを確認し、生産コスト削減効果を検証する。
	有機肥料施用による食味向上効果試験	美味しさ・収量・品質・生産コストを発酵鶏糞施用と比較する。
福白金時	播種日試験	福白金時の播種時期による、腐敗・汚流への影響を検証する。
南瓜	有機肥料施用による食味向上効果試験	有機物施用が食味・品質・貯蔵性に与える影響を検証する。
アスパラ	有機肥料施用による食味向上効果試験	



畜産部通信

畜産部
畜産課



4月黒毛素牛出荷区別成績

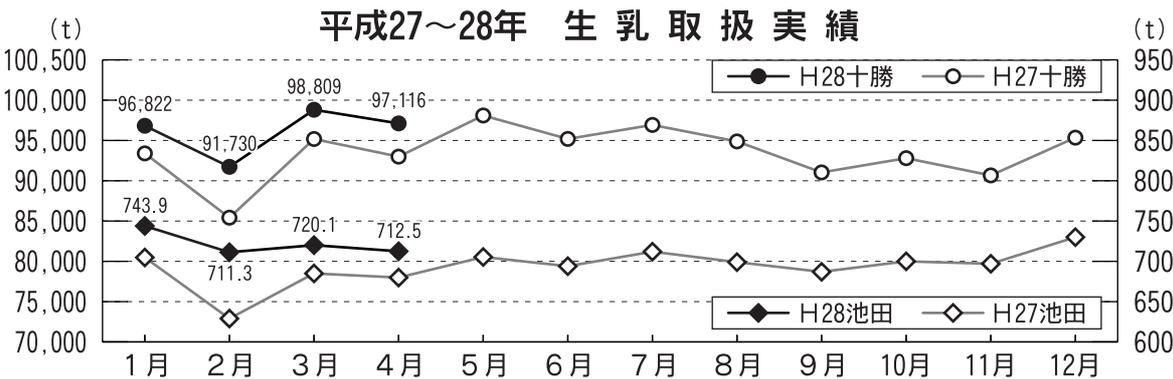
【金額(円)】

去勢	池田	十勝	池田	十勝	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	池田	和牛素牛	697	894,959			
		マニュアル参加牛	435	903,637	62.4		
		マニュアル認定牛	68	974,859	15.6		
雌	池田	和牛素牛	51	915,269			
		マニュアル参加牛	46	913,915	90.2		
		マニュアル認定牛	12	953,370	26.1		
雌	十勝	和牛素牛	487	756,299			
		マニュアル参加牛	328	765,601	67.4		
		マニュアル認定牛	22	833,269	6.7		
雌	池田	和牛素牛	34	761,050			
		マニュアル参加牛	33	761,138	97.1		
		マニュアル認定牛	2	783,000	6.1		

4月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
23日	黒毛去勢	A-5	2,596
		A-4	2,559
		A-3	2,348
	黒毛メス	A-5	2,622
		A-4	2,563
		A-3	2,441
	F1去勢	B-3	1,553
		B-2	1,357
	F1メス	B-3	-
		B-2	1,300



4月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
4日	乳牛育成	442	513,193
6日	乳牛初妊	444	775,326
	乳牛経産	54	444,080
21日	乳牛初妊	387	755,127
	乳牛経産	117	445,966

4月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	123,947
F1オス初生	277,361
F1メス初生	184,091
廃用牛	200,996



清見地区

やす とみ たか あき
安 富 貴 昭 さん
(30歳)

Vol.24
未来人
Mirai Bito

プロフィール

父・功さん、母・明美さん、祖父・忠幸さん、
祖母・静江さんの5人家族で畑作を営む。

池田高校を卒業後、当時の専修大学北海道短期大学農業科学科へ進学し卒業後就農する。

今年で就農10年目。

小 さいころから将来は自分が農家を継ぐことになるだろうと思っていた。」と話してくれたのは、今年度青年部で会計を務める貴昭さん。高校生の時には就農を決意し、農業について勉強するために、専修大学北海道短期大学農業科学科へ進学した。

農 作業は父・功さんと母・明美さんと3人で仕事を分担しながら行っている。農業をされていて大変な事について聞くと「自然相手なので、思い通りにできないことです。」先日の強風ではビートがやられてしまい、半分近くの圃場で播き返しをしたとのこと。ただ、「農業は大変だけど社会的に意義のある仕事。人が生きていく上で必要な『食』を作る仕事なのでやりがいはある。」と農業の魅力について語る。

便秘薬等の漢方に使われ、播種から収穫までに4年間もかかる。また、「デリケートで、天候の影響を受けやすく育てるのが大変です。」と苦笑い。

「そろばん・スケート・サッカー・水泳・バスケット」と小さい頃には数々の習い事をしていた貴昭さん。大学時代には趣味でスノーボードもやっていたと言う。今は腰を悪くしてしまい、「最近スノーボードに行けないですね。今では腰のリハビリの一環で筋トレをするのが趣味になりました。」と笑う。

青 年部へは清見の先輩に誘われて就農1年目に入部する。過去には支部長を2回経験し、今年には会計を務める。「青年部は色々な講習や研修などがあり勉強になる。農業後継者と交流する事で、他の農家のやり方等が聞けて参考にもなるので、部員の方に積極的に参加してもらいたい。また参加してくれる活動を展開していきたい。」と力強く話す。

今 後の目標については、「生産コストの低減。そしてより良い作物を育てるために生産技術について学び、取り入れていきたい。」と話してくれた。



理事会の動き

第 3 回

〈平成28年5月24日〉

★ 報告事項 ★

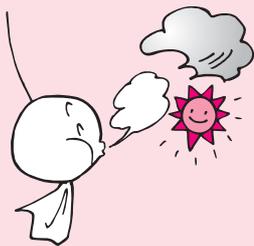
- (1) 組合員の加入・脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 平成28年度職員研修旅行について
- (4) 職員給与の改定について
- (5) JAバンク基本方針に基づく「JAの経営状況に関する事項の報告」の報告について
- (6) 職員の人事異動について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員出資金持分減口承認願いについて
- (2) 固定資産の取得について
- (3) 平成28年度コンプライアンスプログラムについて
- (4) 部会活動費の支出について
- (5) 理事に対する資金の貸付について

★ 協議案 ★

- (1) 平成28年度役員研修旅行について



今月の1枚



田植えを体験！

今月の1枚は5月23日（月）に利別小学校の3年生と5年生、池田小学校の3年生が、千代田地区・加藤洋子さんの水田で田植えをしている様子です。

これは、小学校の社会科・総合学習の一環として、土地改良区の協力を得て実施されました。



5月より、営農部営農課に配属になりました豊原英梨です。

このたびの人事異動により、9年間在籍していた畜産部を離れ、初めての部署異動となりました。

何事も手探り状態ではありませんが、広報担当の杉山と一緒に、皆様に楽しんで読んでいただけるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(豊原)